

都市再生整備計画事業 事後評価シート

天辰地区

令和7年5月

鹿児島県 薩摩川内市

様式2－1 評価結果のまとめ

都道府県名	鹿児島県	市町村名	薩摩川内市	地区名	天辰地区	面積	126.3ha						
交付期間	令和1年度～令和5年度	事後評価実施時期	R6	交付対象事業費	610.8百万円	国費率	0.413						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 道路築造事業(市道2路線)、高質空間形成施設(道路植栽)										
		提案事業											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響						
		提案事業	なし		—		—						
		提案事業	なし		—		—						
	新たに追加した事業	基幹事業	道路築造事業(市道1路線)		地区内住宅地域と幹線道路を結ぶ大明神皿山線について、道路築造を行うこととなったため。		無						
		提案事業	高質空間形成施設(歩道整備)		地区内住宅地域と幹線道路を結ぶ大明神皿山線について、歩道整備を行うこととなったため。		無						
交付期間の変更	当 初	令和1年度～令和5年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響	なし								
	変 更	なし											
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	地区内の児童数、幼児数	人	374	H30	500	R5	572	○	あり	市全体の人口は減少傾向にあるが、公園整備や道路整備により回遊性の向上が図られたことで、地区内の人口は順調に増加傾向にある。児童数、幼児数についても毎年対前年から約5～10%の割合で増加しており、目標達成することができた。	—	
										なし			
	指標2	都市計画道路向田天辰線における交通事故発生件数	件数/km	7.7	H30	3	R5	3.1	△	あり	● 該当路線は一級河川川内川の拡幅整備と一体で整備を進めており、令和5年12月に隣接する天辰第一地区との地区境付近の約340mを供用開始することで危険箇所が減少し、それに伴い事故件数も減少した。 一方で、本整備計画区域外の整備が完了しておらず、危険箇所が残っているため目標達成には至っていない。	令和9年12月	
										なし			
	指標3									あり			
										なし			
	指標4									あり			
										なし			
3)その他の数値指標 (当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	天辰地区内の人口	人	1,595	H30				2,221			公園整備や道路整備により回遊性の向上が図られたことで、地区内の人口が増加している。	
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	①令和2年8月において薩摩川内市立地適正化計画を策定した。この計画は将来世代にわたって、安全や暮らしやすさが確保される生活環境を整え、行政サービスを提供できる「持続可能なまちづくり」を目指すことを目的としている。 ②一級河川川内川の拡幅整備とともに道路や歩道の公共施設が整備されたことで、災害に強い安全安心かつ居住環境良好な新しい市街地を創出し、宅地の利用増進が図っている。												
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等		
	モニタリング	実施なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—		
	住民参加プロセス	土地区画整理審議会、推進委員会との報告会及び説明会、環境施設整備検討ワークショップ					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				●		
											土地区画整理審議会、推進委員会との報告会及び説明会については、今後も審議会・推進委員会と連携を図り、事業を推進する。		
	持続的なまちづくり体制の構築	実施なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						

様式2-2 地区の概要

天辰地区（鹿児島県薩摩川内市）都市再生整備計画事業の成果概要									
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標 目標1 目標2	災害に強い安全安心かつ居住環境良好な新しい市街地の創出を目標とする。 機能的でしかも居住環境良好な子供たちの賑わいのある新市街地の形成 安心安全なまちづくりの構築	地区内の児童数、幼児数	単位:人	374	H30	500	R5	572	R6
		都市計画道路向田天辰線における交通事故発生件数	単位:件数/km	7.7	H30	3	R5	3.1	R6
□基幹事業 道路(向田天辰線道路築造)									
□基幹事業 道路(坊ノ下通線道路築造) 道路(大明神皿山線道路築造)									
□基幹事業 高質空間形成施設(永利天辰線道路植栽)									
□基幹事業 高質空間形成施設(大明神皿山線歩道整備)									
まちの課題の変化		・道路等の整備により、居住環境の向上や安全安心な交通が確保された。 ・道路や歩道の整備により、交通環境の向上は図られたが、児童数・幼児数などの居住者の増加や交通量の増加により、通学路や交差点での交通安全施設の整備が課題となっている。							
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)		・良好な居住環境や快適な交通の維持のため、地域と協働し公共施設の維持管理に努める。 ・事業区域内の交通量が増加していることから、交通安全の啓発や交通安全施設の整備を図る。 ・天辰第一地区と天辰第二地区との地区境は概成し、天辰第二地区の居住環境も整備されつつある。今後は天辰第二地区の進捗率の向上を図り、天辰第一地区と一体的な居住環境の創出を図り、更なる居住者の増進を図るとともに、住民参画のための体制づくりを構築したい。							